⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公表

◎ 公表特許公報(A)

平5-504083

@公表 平成5年(1993)7月1日

@Int. Cl. *

識別記号

宁内乾理番号

審 査 請 求 未請求 予備審査請求 有

部門(区分) 1(2)

A 61 F 13/46

2119-3B 7603-4C A 41 B A 61 F 13/02 13/18 307 C*

(全 4 頁)

図発明の名称 異なる超吸収剤を含有する二つの層を組入れた吸収体

> 20特 頭 平3-504309

6929出 願 平3(1991)2月13日 40翻訳文提出日 平4(1992)8月13日

89国際出願 PCT/SE91/00101

約国際公開番号 WO91/11978

@国際公開日 平3(1991)8月22日

優先権主張 例1990年2月14日例スウエーデン(SE)の9000534-9

グスタフソン, ラルス **72)発 明 者**

スウエーデン, エスー413 23 ゲーテポーク, ドル リポリウス

ガタ 13

アレスコウグ, ステフアン 個発 明 者

スウエーデン, エスー435 44 メールンリューケ, ヴアイオリン

ヴエーゲン 2シー

メールンリユーケ アーベー の出願人

スウエーデン, エスー405 03 ゲーテポーク (番地なし)

弁理士 安達 光雄 外1名 四代 理

AT(広域特許),AU,BE(広域特許),CA,CH(広域特許),DE(広域特許),DK(広域特許),ES(広域 創指 定 法 特許), F I, F R(広域特許), G B(広域特許), G R(広域特許), H U, I T(広域特許), J P, L U(広域特

許), NL(広域特許), NO, SE(広域特許), US

最終頁に続く

請求の範囲

し、おむつ、失禁帯または問題の物品に用いる吸収体に おいて、延吸収体が使用時に着用者の身体に最も近く位置 する毛羽の第(贈(1)と、諡第1層に混入され且つ高い 交差結合度およびこれと共に通常発生する圧力によって実 質的に影響されることなく影張する能力を有することによ り被を吸収すると崩れる毛羽がほぐれ、これと共に再び空 気を含むかさ高い毛羽磨を形成する第1超吸収剤(3)と を含むこと並びに上記吸収体が上記第1無吸収器より高い 被吸収性を有する媒2超吸収剤(2)を含むことを特徴と する吸収体。

2. 前記第2層が前記第2超級収制(2)が進入された 毛羽よりなることを特徴とする請求の範囲し項に記載の扱

3 . 前記第2層における第2超吸収制(2)は交差結合 されているが前記第1超吸収料(1)より低いゲル化強度 を有することを特徴とする構求の範囲し項または2項に記 戯の吸収体。

異なる超級収券を含有するこつの層 を組入れた吸収体

本発明はおむつ、失禁防護帯または同類の物品に用いる 吸収体または吸収パッドに関する。

おむつの吸収パッドは高い吸収率を有することが痛めて 養長である。 吸収バッドは乾燥している時には高い吸収率 を有することが普通である。その理由は乾燥時にはパルブ の芯が迅道に移動して尿と入れ代ることができる十分な量 の望気を封包しているからである。

乾燥した吸収バッド内の毛羽マットの鎌倉は中華新事と そのため圧離されるまでは若干の重量に耐える。バッドが ぬれると毛羽マットを崩すので繊維は重量乃至圧力に耐え る能力の多くを失う。

バッド体積の大部分は、毛羽マットが崩れると、失われ る。その場合は毛羽マットがさらに液体を吸収する能力は 一つの場所から別の場所へ移造する毛羽の離力に限定 される。移送の過程は毛羽マット内では非常に緩慢で絶え ず過剰な尿の移送に関係しているけれども、毛羽の大部分 が成功の程度に登はあるが何とかこの移送を処無している 。この過剰は特定の瞬間における毛羽に存在する被量と毛 羽が彼を保持する能力との間の差異である。

上記のごとく、魍魎収削は毛羽の吸収性の約3~5倍6 大量の果を吸収することができる。この能力は利用できる けれども、この能力はこのただ一つの能力だけを他の能力 と交換する時に特に有効というわけではない。 國吸収制は 例えば表面の乾燥など他の特性にも寄与することができる

最初の吸収で崩れた毛羽マットの迅速な二次的な吸収への最大の障害はぬれた毛羽には排出すべき空気がないことである。

本発明はこの問題を解決することにある。

本発明の吸収パッドはこのパッドが物品の使用時には着用者に最も近い位置にくる毛羽の第1層と、この第1層には悪いなき結合度を有しそのため通常起る圧力によっては実質的に影響されない一方、影響する能力を有することによって被吸収後に崩れたパルプがほぐれて再び空気を含んたかざ高い毛羽層を形成する第1組吸収剤を含むこととを特徴としている。

後に高いゲル化力を伴う交差結合度が非常に高い超吸収 剤は同時に毛羽から液を造がしながらめれた毛羽をほぐす ことができることが判った。吸収パッドの金吸収性は毛羽 と超吸収剤とが個々にどれ程の液を吸収できるかにのみ依 存していないということが理解されよう。金吸収性は生起 する圧力を受け保持できる体徴の寸法如何に決まることが 大きい。

本発明によれば、高度に交系結合した組吸取剤は後でおきる液の排出の速度を崩れた毛羽マットをほぐすとかあるいは「毛羽化」してぬれた部分の全体補を増加することに

そこで今やちむつの製造者は圧力を受けても吸収された 被が影張したゲル化状態で有効に保持できるゲル化強度を 備えた照吸収剤を希望する。しかし、交差結合度が増加し これと共にゲル化強度が増加するにつれて、超吸収剤の被 吸収性は減少する。

現在では十分に高い被吸収性を有する超吸収制で同時に 断れた毛羽マットをほぐすことができる超吸収剤は存在し ないことが判明している。

図3は高い交差結合度およびこれと共に高いゲル化強度を有する混合の超吸収剤3を入れた毛羽マット(を示す、以下に理解されるごとく、図3に示す毛羽マット(はこのマットが液を吸収すると図1について記載したと同様に崩れる。しかしながら、超吸収剤3はおむつなどにおいて過常の使用圧力下では形状を変えることなく必須できるほどの高度の交差報告をし且つ高いゲル化強度を有する。その

よって改良するものである。

常時に発生する圧力によっては実質的に影響を受けない間は影弾できるように高度に交差結合する超吸収剤はより低い交差結合度を有する超吸収剤より低い吸収性を有する。その結果として、本発明の吸収パッドはより高い液吸収容量を有する第2超吸収剤を組入れた第2届を含む。

本発明を以下に承付の図面を参考にさらに詳細に説明する。図面において、図1点上び2は液を吸収前お上び吸収徴にも、毛羽マットに含まれた交差結合化の超吸収剤の状態を機略的に示す。これに対し図3ねよび図4は高度に交送結合された超吸収料を含む毛羽マットの対応の状態を示す。

図1 は交差結合された超級収解2 のグレイン (grain) またはパーティクル (particle) が温入された毛羽溜 1 を示す状態の記れた毛羽溜 1 でった状態の記いたかき高い状態にある。従って、図1 の吸収パットは繊維間に十分な空気を入れた状態の記いたかき高い状態にある。従って、図1 の吸収することができる。毛羽マットが進めると、吸収された液の電量と外ではの場合にはこの解れた毛羽マットは吸収パッドがさらに経収の場合にはこの解れた毛羽マットは吸収パッドがさらに経収の場合にはこの解れた毛羽マットはで、毛羽マット 1 に モモ受けると被を放出するであるか。毛羽マット 1 に モモ 関いがら液を取り込み影響によって粒液は増大する。超吸収パックを液は増大する。 2 に 要の 2 は 使用されて 3 通常の 圧力下では 吸収された液を保持する

結果、 超吸収剤パーティクル3が膨張すると、 毛羽マット 1 は図4 に示すごとくほぐれまたは「毛羽化」する。 毛羽マットは服吸収剤によって崩れると簡単にマットの被が空らになる。 超吸収剤が影張し毛羽マットがばらけるのに続いて、 翌4 に示す吸収パッドはさらに液を吸収すると容易に移動できる大量の空気を含むことができる。

本発明の吸収パッドは図3および図4について記載した種類の、即ち吸収パッドをおむつに使用する場合には使用者の身体に最も近く位置する上層と、この上層の吸収性よりも減の吸収性が大きい超吸収剤を含む蒸磨とより構成されている。

本発明の吸収パッドの返着は例えば図 l および 2 について収明した方法で構成される。

底層に入れた現吸収剤は任意選択手段として連続的ゲルを形成する程の低いゲル化強度を有する超吸収剤より構成することもできる。この点での変要な基準は上層が繰返して液の急速吸収をおこなうことができることである。

非常に高いゲル化強度を示すと共に本発明の暖収パッドの上層に効果的に機能するゲルの一例はサルソープ {sa}-sorb} DPX5038である。

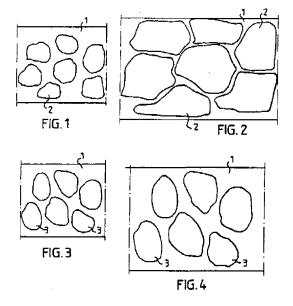
上側を羽層にアクァリック(Aqualic) C A W - 2 を用いる一方、底面層に同様に交差結合された超吸収剤アクァリック C A W - 4 を用いて良好な結果が遅成された。 製造者によれば、アクァリック C A W - 2 はアクァリック C A W - 4 より高い交差結合度を有しこれと共により大きいゲル

化強度を有する。

例として述べた上記超吸収剤の全ては交差結合されたポ リアクリル酸ソーダである。

本発明は叙上の実施例に限定されるものではなく、付殖 の開来の範囲内で種々の変型実施の可能なることを理解さ

例えば、本売明の吸収パッドは種々異なる超吸収剤の種 々異なる層を組入れた一体的に形成された毛羽体より構成 することができる.



本発明はおむつまたは同類の物品に用いる吸収体に関す る。本発明はこの吸収体が毛羽の第:勝と、この毛羽層内 に混入され高い交差総合度を有する第1段吸収剤を含むこ と並びに上記の吸収体が第3覇吸収剤より高い液吸収性を 有する第2超吸収剤を含む第2層を含むこととを特徴とし

		9	鮗	斑			告		
					1940	Makana r	application the	PCT	/SE 91/00101
f. CLI	STRIFTCATIC	N OF BUILDECT MATTE	. (1.	4 4 4 4 4	-	-	PREY, Indicate	*116	
		wangi Pajani Elagaillani.	4 1 PC - 1	1	No.	Cieronii	SPHEE AND IPE		
Thesi	A 51 F	14/40							
H. THE	LDS SLARGS	HO							
			HIMMen	D GAWA					
Clausic	cateur System				CHIE	dares sy			
I PCS		A 61 F							
		Derivation	the teams		er Man A	Hintman.	Description	,	
		in the Euresi	mei swee be	-	70 PF (-	Fields Sagrate	<u></u>	
SE.DK	FI.NO	laises as abov	•						
M. CO	CUMENTS O	MINISTREE TO BE REU	EVANT!						
Crimery		no se Danverenc ^{a)} with h		-	-	n m		per 12	Laterant is Cities as If
_		2048078 (ZEMM							1
	51	e page 1. line	62 - 1	1ne	64;				1
	pt	ge 2, 11ne 14	- line	16					
	1								}
4	US. A.	4673402 (THE	PROCT ER	8.0	AMBL	E COM	PANY)		1-3
	16	June 1987, se	e colu	вп 9	i, 16	ne 58;			
	_ C0	Tumun 5, 11nm 2							
	1								4
P.A	SE, B, 463747 (MÖLNLYCKE AB) 21 January 1991, see the whole document							1-3	
								1	
	1			**					1
	1								
	1								
	1								ŀ
	1								l
									ŀ
	ł								ľ
	ļ								
- tees	del aniversi	ro of Midd Challester !	•			1,000 440	affected model before		na laterautional films and
***	The second	of the bearing of the	a ari whic a	10 700		cree is		1	The later our later ! Il line par in write your approved the
.4. 21	-		er the interes						
								₩	
					_	mar.	the second in	TON	de constitue slop when it
		tong to an west directors with,				N 100 PE	Lak town and		, ving ad physical inspection, and inhabitation along when the ar respect pathers such a demo- sistement on a described State of
	air 1000 100 s	rhand groups by they designment reprint forth arternal	empi SHirty d	ate be			memoer of the		
	WICK FIGH		· Cumi		Dies -	/ Martine	of stale Treasure	ion w 4	THE RESERVE
SER M	lay 1991						-05- 2 2		
4-10	mai Soora ning	Archartey			Fignar	ere er Au			
				- 1	7	regres	,,, , , ,		5
	even	EN BATEMT DEET	ce	1	Tee	-14 E	- 16		

.PCT/SE 91/00101

This carry light the garact family marshines relating to the system between about in the observment prompt injections starts resemble the commence of the commence of the system of the commence of the comme

Fatort decument of ted in coords request		Publiques data	Fature (s marrie	Publication date	
GB-A-	204807Å	BO-12-10	06-A-C- FR-A-B- JP-A- JP-B- US-A-	3015538 2454799 58146164 59013213 4333464	80-11-06 80-11-21 80-11-14 84-03-28 82-05-08
US-A-	4673402	87-06-16	AU-B- AU-D- CA-A- EP-A- GB-A-B- JP-A-	578402 5741786 1262614 0202125 2175212 62032950	88-10-20 86-11-20 89-11-14 86-11-20 86-11-26 87-02-12
SE-8-	463747	91-01-21	EP-A- WO-A-	0401189 90/14815	90-12-05 90-12-13

第1頁の続き

識別記号

庁内整理番号

第1 良いへこ 動Int. Cl. ⁵ A 61 F 13/00 13/15

351 Z

7108-4C

@発 明 者 クヴィスト,マグヌス

スウェーデン, エスー448 00 フロダ, ヘスタグスヴエーゲン

【公報種別】特許法第17条第1項及び特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成10年(1998)10月13日

D

【公表番号】特表平5 -504083

【公表日】平成5年(1993)7月1日

【年通号数】

【出願番号】特願平3-504309

【国際特許分類第6版】

A61F 13/46

5/44

13/15

[F1]

A41B 13/02

A61F 5/44 н

> 13/18 307 C

> > 于 統 補 正 書

平成10年2月12日

特許庁長官 廄

1. 責任の表示

学成3年特許維第504309号

(PCC /SE 91/00101)

2. 発財の名称

異なる組吸収利を含有する二つの層を組入れた吸収体

3. 補正をする者

実件との関係 特許出頭人

名 称 メールンリューケーアーベー

4.代 莲 人

〒550-000) 大阪市西区土佐増1)日6番20号 新栄ビル6階 (751.(05)441-1816 住 所 新栄ビル6階

氏名 (5989) 弁理工 安 進 光 維

5. 補担の対象

明和書

6, 補正の円容

明細書を別紙のとおり補正する。

以上



FЯ **&**71

1. 発明の名称 異なる超戦収削を含有する二つの間を組入れた根収を 2. 湯菜の転用

1. おむつ、矢禁骨または同類の物品は用いる吸収体において、該吸収体が使 国時に着先者の身体に最も近く位置する毛羽の第1輪(1)<u>を含み</u>、液洗1層に 渥入さ<u>れま</u>い交差結合度およびこれと排に透開発生する圧力によって実質的に影 智されることなく帳張する能力を有する第1趣吸収剤(3)を有し、これにより 液を吸収すると崩れる毛羽がほぐれ、これと共に変式を含むかき高い毛羽標を摂 ご形成するようになし、上記吸収体が上記第1超吸収剤より高い液吸収性を有す。 る第2起吸収剤(2)を含むことを特徴とする吸収法。

2. 前記第3層が前記第2超吸収剤(2)が混入された毛羽よりなることを特 数とする請求の範囲、項に記載の吸収体。

3. 前記第2対における第2類吸収剤(2)は交送結合されているが前記第1 歴吸収剤(↓) より低いゲル化強度を有することを特徴とする語求の範囲 1 項ま たは2項に記載の以収体。

3. 発明の詳細な説明

本発明はおむつ、矢葉弥譲帯または同類の物品に用いる吸収修または吸収バッ ドに困せる。

おむつの仮収パッドは直い吸収率を有することが極めて重要である。吸収パッ 下は乾燥している時には高い皮収率を存することが普通である。その理由は乾燥 **悔にはパルブの窓が迅速に移動して尿と入れ代ることができる上分な量の空気を** 封包しているからである。

乾燥した吸収パッド内の毛羽マットの繊維は比較的割くそのため圧縮されるま では君子の重量に耐えるととができる。バッドがぬれると繊維は重量力率圧力に 耐える能力の多くを失い、毛羽マットを捉す。

毛羽マットが崩れると、パッドは横の大部分は失われる。それで、毛羽マット がさらに液体を吸収する能力は、尿を一つの場所から肌の場所へ移送する毛羽の 能力に限定される。楊送の進行は毛羽マット内では非常に緩慢かつ、過剰な尿の 移送に関係しているけれども、毛羽の大部分が成功の程度に並はあるが何とかご

の移道を処理している。原の過剰分は特定の開開における毛羽に存在する漫量と 毛羽が液をは持する作力との間の差異である。

したのごとく、対戦収利は大角の原(毛羽の吸収性の約3-6倍)を吸収する ことができる。この吸収能力は利用できるけれども、この吸収能力だけを他の吸 収能力と交換する時にのみ様に有効であるというわけではない。超吸収到は例え は表面の必要など他の特性にも受けすることができる。

股系の吸収で活れた手羽マットの迅速な三次的な吸収への最大の障害は始れた 毛羽には移動すべき空気がないことである。

本発明はこの問題を解決することにある。

公親明の吸収パッキはこのパッドが物品の使用時には省用者に最も近い位置にくる毛羽の第1項を見偏し、この第1層に配置され高い交替社合度を有しそのためは第起る圧力によっては実質的に影響されない一方、膨張する能力を有することによって減吸収扱に的れたパルブがほぐれて再び空気を含んだかさ高い毛型層を形成する第1程及収別を含み、液吸収容量が第1程収収剤より大きい第2截収収額が開きされた第2層を見備することを特徴としている。

を豊裕全族が非常に高く、その後の高いゲル化力を有する超級収制は毛効から 関を逃がすど同時にぬれた毛羽をはぐすことができることが何った。吸収パッド の全妻報性は毛羽と経吸収別とが個々にどれ様の液を扱取できるかにのみ依存し ていないということが理解されよう。全吸収性は生起する圧力下で保持できる体 減の大きさに大きく依存するのである。

本発明によれば、高度に交送額合した超吸収剤はその後の排出域の吸収の速度 を、弱れた毛刺マットをはくすとかあるいは「毛羽化」してぬれた部分の全体構 を増加することによって改度するものである。

高度に交差結合する超級以前(発生する延常の圧力によってひ実性的に影響を受けない関対接続できる)はより切い交差結合度を有する超級収利より近い吸収性を有する。その結果として、本発明の設成パッドはより高い協関収決量を有する第2億収減前を組入れた第2層を含む。

本発明を以下に添付の区間を参考にさらに評細に説明する。図面において、区 1 および2は、毛羽マットに含まれた交送総合の選集収制の補限収前および活収 収後の決慰を概略的に示す。図3 および例4 は高度に交差結合された極吸収剤を含む毛羽マットの対応の状態を示す。

図1は交差結合された経吸収別のグレイン(grain) またはパーティクル(parti $\epsilon(\mathbf{le})$ 2が提入された毛羽層 1を示す。図 1に示す毛羽マットは乾いたかさ高い状 態にあり繊維度に十分な空気を入れた状態である。従って、図1の吸収パッドは パッド内に浸透してくる液を迅速に吸収することができる。種類マットが湿める と、吸収された液の重量と外部荷量が及ぼす圧力とを受けて毛刺マットは痛れる 。超吸収剤がはいってない場合には、この崩れた毛羽マットは吸収パッドがさら に外圧を受けると液を放出するであるう。毛沢マット1に超吸収剤がはいってい ればこの超吸収剤が利料から液を取り込み吸込みによって膨張し粒経は増大する 。 郡吸収到2は使用されている通常の圧力 $^{-1}$ (即ちおむつの吸収パッドが受ける | 通常の圧力下)||では阪収された液を保持するだけの十分なゲル化力を保有する程 度に交差結合されている。例2に示すごとく、超吸収制2は連続的なゲルを形成 せず、その膨脹状態においても相互に分離したグレインまたはパーティクルの形 のままである。先きに述べたごとく、超吸収剤は使用時に通常の圧力を受けても 液を保持できるが、圧力を受けるとその形状を保持せず機に平らになりがらであ る。従って、蟷螂収割2は毛羽をはらけさすことができず。従って、毛羽マット は実質的には歯れた状態のままになる。従って、図2に示す吸収パッドはさらに 液を急速に吸収することはできない。

そこでおおつの製造者は圧力を受けても吸収された液が能態したゲル化状態で 高効に展行できるゲル化強度を有する起度収別を希望する。しかし、交差結合度 が3なにしこれと共にゲル化強度が増加するにつれて、超吸収剤の速吸は性は減少 する。

現在では十分に高い液吸収性を有すると同時に満れた毛羽マットをほぐすこと ができる運動収割は存在しないことが判明している。

図3は高い交換結合権利よびこれと。北に高いゲル化強度を有する超級収割さを 入却た毛羽マット1を示す。以下に理解されるごとく、図3に示す毛羽マット」 けこのマットが彼を吸収すると図1について記載したと四様に崩れる。しかしな が6、起吸収到3年おむつなどにおいて通常の便用圧力下では形伏を変えること

なく記録できるほどの高度の交差結合をし且つ度いゲル代格性を有する。その結果、短砂以近はペーティクルスが膨低すると、毛米マット1は図4に示すできくはぐれまたは「毛型11」する。毛羽マットは超吸吸料によって速を空らにされると同時にマットは近ぐされると、図4に示す吸収カナドは人量の全気を含むことができ、この空気はさらに液が吸収されるとき勢に少数できる。

本発明の状況パッドは図さおよび図らについて記載した種類の上層(この原は 吸収パッドをおむつに使用する場合には使用者の要なに最も近く位置する)と、 この上層の表現性よりも後の専取性が大きいお吸収剤を含む低層とより構立され な。

本発明の表起パッドの底層は例えば図1 および2 について説明した方法で構成 される。

底層に入れた超級関邦財政部に連続的がルを形成する語の低いゲル化強度を有 する経吸収剤より構成することもできる。この点での重要なことは上層が輸送し て液の急速吸収をおこなうことができることである。

非常に高いゲル化態度を示すと共に水が明の形板がファの上層に効果的に機能するゲルの一例はサルソープ (aa) - ano) DPX = 0.38である。

上側種羽瘤にアクァリック (Aqualia) CAW - 2をおいる一方、底面層に司機 に交差結合された程度収録アクァリックCAW - 4を用いて以好な結果が達成された。要定書によれば、アクァリックCAW - 2はアクァリックCAW - 4より 高い交差結合成を有しこれと式により大きいゲル強度を看する。

例として述べた。上記権吸収がの全ては交差統合されたボリアクリル核シーダである。

本発明は叙上の天施側に陸定されるものではなく、行随の積収の範囲内で種々 の発出実施の可能なることを理解されたい。

例えば、本質別の復収パッドは種々義なる経略収削の様々異なる匿を組入れた 一体的に形成された毛羽体より構成することができる。

4. 阿面の簡単な説明

|別1は毛ボマットに含まれた超級収削の微吸収前の状態を概略的に示す。

図2は図1の超吸収刷の液吸収後の状態を機略的に示す。

図3 は毛導マットに含まれた超吸収削(高度に交差結合されたもの)の液吸収 前の状態を概略的に示す。

図4は図3の超吸収剤の減吸収後の状態を振縮的に示す。

1 に毛羽、2は超吸収剤、3は高度に交差給合された超吸収剤。